

編集長: 未来予報家



日本の農業を考える



VOL5

我国の食料自給率は40%を下回ってしまいました。かつては100%近くあった自給率がどうしてそこまで下がってしまったのでしょうか？一説には農水省役人の数字の魔術だといわれていますが、あるニュース番組の発表では我国の農業人口はわずか260万人といわれ、高齢化も叫ばれています。これではひと度、戦争でも起こって外国からの輸入が断たれてしまえばたちまち日本国民の4割、つまり3000万人しか生き残ることが出来ないことになります。これはゆゆしき問題であります。もちろん、農業以外の産業が発展した結果ともいえるのですが、それにしても農業の衰退は著しいといわざるを得ません。農業の自給率向上には全力を挙げて取り組まなければならないと思います。農業をどのように再生するのか？国民会議を毎年開いて意見を聞くことも考えなければならぬでしょう。そのためにも政治家はさらなる努力をすべきだと思います。

早いもので「ひだまり通信(vol.4)」発行から3ヶ月がたちました。前回の予告どおり、今回の陽だまり通信ではメンバーさんたちが張り切って取り組み始めている活動についてお伝えしていきます。

其の1 : 「手話サークル」について

現在、行なっているデイケア活動のひとつです。発足のきっかけはあるメンバーさんの一言からでした。

「 どうしたら彼と話せるんですか？ 」

実はデイケアメンバーさんの一人に耳の聞こえない方がいらっしゃいます。そのメンバーさんと活動をはじめた若いメンバーさんからの素朴な疑問がきっかけでした。そんな思いを抱いていた数名のメンバーさんたちや手話に興味を持つスタッフが集まり手話サークルは誕生しました。指文字での挨拶はもちろん、歌に合わせた手話を練習してみんなの前で披露しています。みんながんばってます。はじめは5人にも満たない小さなサークル活動でしたが、今や参加者だけでも二桁にせまる勢いです。そして私はひとりひとりの志は山よりも高く海よりも深い・・・と思うのです。後は写真で雰囲気を感じてください。(モジ美より)



其の2 : 「釣り人」について

「昔、釣りしてたんですよ」

普段はおとなしくて目立たないあるメンバーさんがボツと洩らしました。詳しく聞いてみるとかなりの腕前。それならとスタッフが半信半疑で「釣り」に興味のあるメンバーさんを募ってみたところ、目をキラキラ輝かせた少年たち(平均年齢56.8歳:一人平均年齢を押し上げている方が...)があれよあれよと集まり釣り談義が始まりました。そしてこの第1回目の会合でメンバーさんの一人が「この集まりの最終目標は“勝手に釣りに行ってね!”ってことでいいね?」と高らかに宣言。

これがきっかけとなって、デイケアの活動枠を飛び越え、一人でもあるいは仲間と一緒に、のんびりと釣りに行き、少しでも生活の潤いになったらどんなにすばらしいだろうなんてひとり感傷にふけて・・・っていうかすでに一人で勝手に釣りに行っているメンバーさんがいるんですけど、ははは・・・。(海の男より)



さて、この2つの活動の共通点、お分かりいただけるでしょうか？

そうなんです！この2つの活動はいずれもメンバーさんたちが自主的に、中心的に活動を切り盛りしている ということです。実はデイケアスタッフの考え方として、メンバーさんたち一人ひとりが主役になれるデイケア作りを目指しています。そして今現在、当院デイケアで行われている活動の多くが、メンバーさんたちの希望や要望に沿って、メンバーさんたちが中心となって活動運営が出来るよう工夫しています。スタッフとしては「ちょっと休憩を挟んでみたら？」など、ちょっとしたアドバイスにとどめていけるよう、口を挟み過ぎないように心がけています。デイケアって奥が深いですね。

今後も編集長との協議の元、珠玉の活動紹介を続けていきます、お楽しみ。(筆名:モジろう)

誰もが気ぜわしく生きている。その中で君は傷ついたエンジェル・・・。そんな君を背中からやさしくいやしてあげたい。(ペンネーム:ハート)